

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン【学校評価書】** 令和8年度

堺市立市小学校
校長 山口 洋介

中学校区におけるめざす子ども像

○自分のよさを知り、人とつながり協働する。 ○将来にゆめや希望を持ち、その実現に向けて粘り強く努力する。

令和8年度 重点目標

学校教育目標「自ら考え 人とかわり 行動する子」の育成・実現にむけ、「確かな学力の定着と向上」・「豊かに伸びる心の育成」・「健やかな体の育成」をめざし、校内全体で「教科研修委員会」「生徒指導委員会」「人権研修委員会」「健康指導委員会」の4つの委員会にチームで取り組み、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進する。特に「チーム力の強化（委員会の自主運営・学年会の充実）」を組織運営の目標とし、前年度の総括をふまえた改善の視点と新たな実践を重ねる。また、ICT を効果的に活用できる授業の改善にも取り組み、月州中学校群での連携を密にした「つながる教育」を推進し、家庭・地域との連携を深め、「堺版コミュニティ・スクール」に向けた地域人材の活用など、「ひろがる教育」を充実する。

「確かな学び」の現状

教科研修委員会での学力向上の取り組みにより、学習規律・習慣が確立、基礎学力が定着している児童が多い。令和7年度「全国学力・学習状況調査」でも、国語の基礎学力に関わる領域においては全国平均を上回る結果となった。しかし、学習に自ら進んで取り組んだり、自分で課題を持って学習したりという児童は少ない。基礎・基本の定着・問題解決型の学習を意識して授業を進めたことにより、ノートのまとめ方も上手になってきている。算数では、4～6年のトレーニングタイムの時間に、計算問題を継続的に取り組んでいた成果が結果に表れている。
また、1人1台環境において子どもたちが積極的に児童用パソコンを活用して、必要な情報を収集・判断・表現できるように「情報活用能力」の育成に取り組んでいる。「情報モラル」に関する指導にも取り組み、ICTを活用した授業改善を進めている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

これまで、道徳を中心に研修を進めてきたこともあり、授業でも活発な意見交換が行われ、ノートにも自分の思いや学んだこと、これからのことなどがしっかりと書いている。たてわり活動などでも年下の児童に対して思いやりをもって関わろうとする児童が多い。令和7年度「CBTによる堺市学習・生活状況調査」でも、関連するほとんどの項目において、肯定的意見の割合が高いことから、家庭と連携して豊かな心が育っていると考える。
体力面においては、休み時間に外遊びを推進している。令和6年度「堺市新体力テスト」堺市平均との比較においては下回っている項目もあるが、昨年度に引き続き「外遊び」や体力向上の取り組みを進めていきたい。また、授業や休み時間の活動を通し、児童自身が目標をもって体力作りができるように進めていきたい。

大項目	中項目	具体目標	評価項目 (取組、成果・状態)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	生きる力の基となる基礎・基本の学力の定着を図る。	漢字・計算練習に取り組み、基礎学力の定着を図る。	学期末テストで漢字・計算とも習得率80%以上。	学期末テスト 学校評価	2学期末					
			毎日の宿題や自主学習に取り組むことにより、保護者と連携しながら家庭学習習慣づくりに取り組む。	「家で時間を決めて宿題や自主学習をしている」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート	2学期末					
			週2回の朝読を始め、図書館活用を通じて自ら進んで読書したり調べ学習に利用したりする児童を育成する。	「本をよく読んでいる」で、肯定的評価85%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末					
		効果的にPCを活用しながら、「学びのコンパス」を踏まえた深い学びの実現に向けた授業改善の推進を行う。	高学年：調べ学習で児童用PCを活用した学習に取り組む。低学年：児童用PCを活用し学習の復習に取り組む。	「PCを使って、調べたい内容を調べたり、ドリルパークで習ったことの復習ができたりしている」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート	2学期末					
学びのコンパスを軸にした子どもが自ら学びを進められる授業づくりを進め、自分の思いや考えを書く活動を取り入れ、問題解決の道筋がわかるノートづくりに取り組む。	「授業はわかりやすい」「授業中、自分の言葉で考えや解き方をノートに書いている」で、それぞれ肯定的評価80%以上。		学校教育アンケート	2学期末							
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	一人一人が互いのよさを認め、共に高めあえる力を育成する。	道徳をはじめ、あらゆる教育活動の場において、子どもの自己肯定感や自尊感情を醸成し、自他の価値を尊重する意欲や態度を育成する。	「自分にはよいところがある」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末					
			学級・学年・全校の集団づくりを通して、互いのちがいを認め合い支え合おうとする児童を育成する。	「学校生活は楽しい」で、肯定的評価90%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末					
			支援を要する児童の共通理解と対応力を高めることで、人の気持ちが変わる児童を育成する。	「思いやりを持って人に接している」で、肯定的評価85%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末					
	児童の実態を適切に把握し、基本的な生活習慣の確立を図る。	人権・道徳教育を推進し、「なやみごとアンケート」を適切に活用しながら、いじめの未然防止・早期発見・組織的対応に取り組む。	「なやみごとアンケート」を年3回実施し、月1回の委員会にて情報共有をする。	各月の委員会	2学期末						
		あいさつ運動を活性化し自分から進んで挨拶できるようになったと思う児童を育成する。	「自分から進んであいさつができています」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末						
		相手の立場に立って正しい言葉を使ったり、気持ちの良いきれいな環境づくりをめざしたりして美しく行動しようとする児童を育成する。	「学校のきまり、市このきまりを守っている。」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末						
体力の向上	運動に親しむ資質、能力及び体力の向上を図る。	体力向上プランに基づき、体育授業の充実・外遊びの推進を図り、体を動かすことが好きな児童を育成する。	「体育の授業が好きだ」、「2日以上外で遊ぶ」と答える児童の割合が、それぞれ80%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末						
		健康教育指導を実施し、食育との連携、手洗い等の習慣、避難訓練、交通安全指導等を通じて自分の体と命を守ろうとする児童を育成する。	「避難訓練をしたり、交通ルールを学んだりして、自分の体と命を大切にしようとしている」で、肯定的評価90%以上。	学校教育アンケート 学校評価	2学期末						
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、家庭・地域とともに歩む学校づくりを推進する。	学校ホームページ、各種たより等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページを毎日更新する。「学校だより、学年だより、ホームページ等を通して学習内容や子ども達の様子の発信に努めている」で、肯定的評価80%以上。	学校教育アンケート 学校評価	毎月 2学期末					
		地域人材を積極的に活用し、地域とともに歩むチーム学校づくりを推進する。	全学年の授業において、ゲストティーチャーなどで参画していただく。	学校評価 実践報告	2学期末						

校長より (年度末)

学校関係者評価者から (年度末)